

SAT 競技第 3 号
2022年11月29日
(一財)東京都スキー連盟
競技本部

本連盟主催・主管大会における安全確保のためのガイドライン

昨年度の国体予選において選手と観客との間で大きな衝突事故が発生しております。アルペンスキー(競技中)は、無防備に観戦をしていると大きな事故に巻き込まれる恐れのある、観客にとっても大変危険なスポーツであることをまずご認識いただき、本連盟に限らず、大会を観戦される場合は、不測の事態に備え安全を十分に確保すること。そして自己責任であることを改めてご認識ください。

昨年度の事故の反省から、当連盟では改めまして来場者等の安全確保を目的としたガイドラインを設定し、今後、一層の事故防止に努めてまいります。保護者等の一部の皆さまにはご不便をおかけする場合もございますが、趣旨をご理解いただきまして、何卒ご協力の程お願い申し上げます。

1. 大会会場内への入場の制限

大会会場内に入場ができる方は以下の通りといたします。

これに該当しない方は、大会会場内には入場できません。

- ①当該大会に出場する選手
- ②コーチ・チームキャプテン 但し、登録手続きを行って認められたもの
- ③大会役員、及び認められた関係者

①～③に該当しない方は、大会会場内には入場できません。

尚、大会会場の解釈、②の手続きについて、③の対象については、項目3に記載します。また、入場後でも立入禁止エリアでの行動は禁止とします。

2. 立入禁止エリア

大会会場、及び会場外においても、危険と判断し指定されたエリアは立入禁止とします。(但し、大会役員は除きます)

立入禁止の指示については、掲示等を行う場合、場内放送等で注意を喚起する場合、大会役員が指示する場合があります。役員から退去などを指示された場合は必ず従ってください。従わない場合は制裁対象となる場合がありますので、ご注意ください。

3. 各種用語の解釈や定義について

1)「大会会場内」とみなされるエリア

- ・競技用のコースとして仕切られたネットの内側、さらにその外側をテープ等で仕切られたラインの内側。
ネットが一部途切れている場合も、あるものとしてみなします。
- ・ゴールエリアのネットの最下限部より下、スタートエリアのネットより上は大会会場外とします。
- ・競技コースが一般コースと隣接する場合も、衝突の恐れあるエリアは会場内と見なし、ネット際での立ち止まりや観戦は禁止にします。

2)コーチ・チームキャプテンの登録手続きについて

- ・TCM会場において、所定の登録手続きを行うこと。(緊急の場合はゴールハウスにて受け付ける)
- ・健康確認表、及びその裏面の注意事項に✓マークを記載し提出すること。
- ・身分を証明するために貸与するビブ、腕章等を大会中は常時着用すること。
- ・明らかにコーチ・チームキャプテンに該当しないと思われる場合は手続きを行わない場合がある。

3)「認められた関係者」の対象について

- ・上部団体からの視察員、プレス関係者、スポンサー等を指し、組織委員会が認め、識別できるビブなどを着用したもの。

4. 禁止事項

いかなるケースでも以下のものは禁止とします。

- ・選手等の滑走を阻害する行動、競技中のコース内への侵入。
- ・選手等の動線に影響する行動や移動など
- ・大会会場内での椅子の使用

以上の内容で当てはまらないこと(特殊な事例など)は、自己判断をせずに、必ず近くの競技役員に相談をしてください。

以 上